

町おこしワークショップ スタート

9月23日(水)から、「町おこしワークショップ」が始まりました。奥尻高校の教育活動の中でも、島の活性化との融合を図る特徴的な取り組みの一つです。奥尻島の農業・水産・工業・観光などの課題を知り、解決策を練って提案・実行することで島の未来について考え、問題解決能力などの様々な力を身につけていく活動となります。

12月まで全26時間の予定で活動を進めていきますが、初回は2・3年生の先輩から昨年度の活動について教えてもらい、第2回で先生方から町おこしワークショップの背景や今年度の流れについての説明を受けました。そのことをふまえ、取り組むテーマのアンケートを記入し、第3回で担当となったテーマについての考察を行いました。

町おこしワークショップでは、全校生徒80名が協力しながら、校内選抜会に向けて企画と提案を進めていきます。

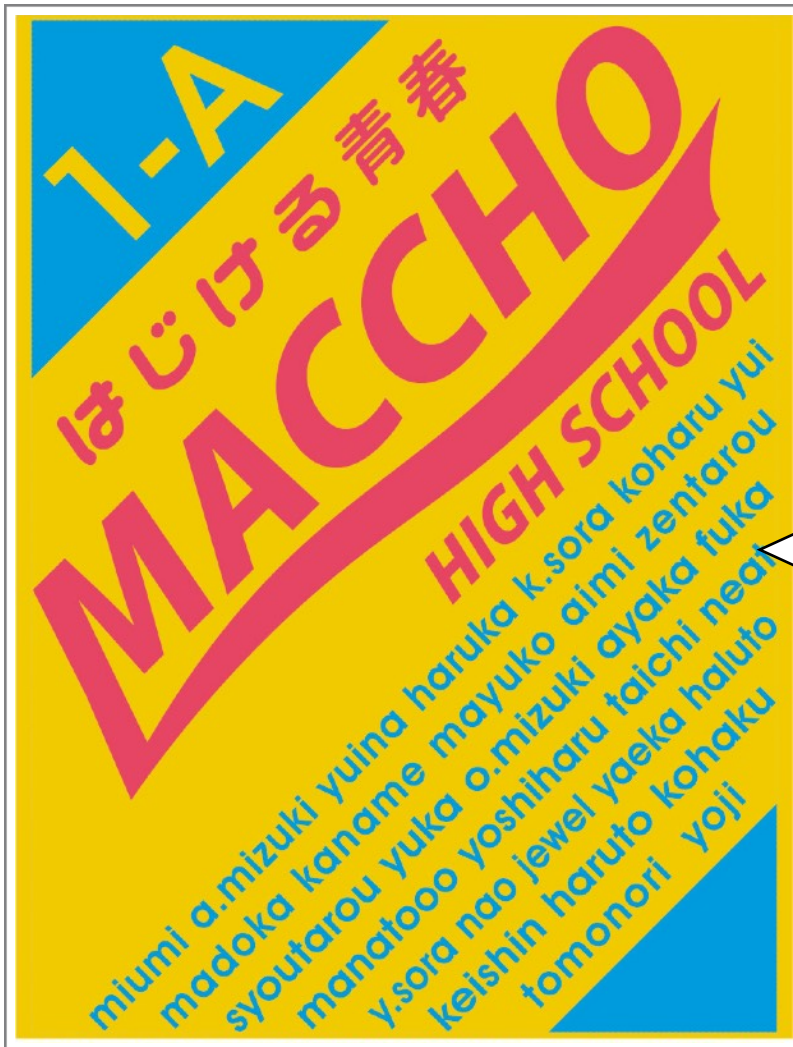


テーマ	担当教員	担当生徒 (全校混合の3グループに分かれる)
観光	井上	葦名・野田・佐々木・伏田
祭	青木	大盛・坂本・松屋・高田・川名
海産物	小栗	野口・香川・森・角田
農産物	畠中	遠藤・平田
自然	小山	石塚・木村・高山・小野
エネルギー	田畑	奥野・山本
防災	篠木	山口・橋谷田・加藤・工藤
起業	穴戸	細川・金久保・安達
広報・運営	小笠原・成田	舘・川本

今年度から新設された広報・運営グループは、毎回の記録や活動の発信、最終報告会の集客や企画・運営を行います。10月6日(火)には、各テーマの専門家をお招きし、具体的な課題の提示やインタビューを予定しています。

クラスTシャツのデザイン

10月1日・2日に行われる「体育祭的学校祭」に向けて、準備活動を進めています。学級の話し合いの中で、連帯感を高めることを目的として、「クラスTシャツ」を注文することになりました。デザインは、シンプルながらもクラスの雰囲気合ったものとなっています。



綿素材に
黄色をベースとして
ピンク・水色で文字を
入れました。

前面の右下には、クラス
生徒と担任・副担任の
名前を入れて、
背面には背番号と個人の
名前を入れました。

代金等については、別紙
をご参照ください。

